もっと知りたい！商品のこと

産直レポート

Vol.12：　大河内農園（ミニとまと）

訪問日：2026年１月22日(木)　天気：雪

今回のレポート担当は…「中部エリア くみかつスタッフ」です

唐津市にある大河内農園へ行きました。
雪が降る寒い日でしたが、暖かいビニールハウス内でお話を聞きました。

ビニールハウスの中に入ると･･･
たくさんのミニとまとが育っていました。
大河内農園では「キャロル１０（テン）」「アイコ」の２種類の品種を栽培されています。

20cmの苗を約2500苗定植し、苗が約１０mまで伸びるそうです。
ビニールハウス上は限界があるため横に伸びるよう工夫されていました。
化学肥料は使わず手作りの有機肥料を使用されています。

青いホースから水が、白いビニールから温風がでてくる仕組みになっています。
ふかふかした土壌に暖かい温度設定など環境づくりされています。

上へ伸びるほど糖度の高い甘いミニとまとになります。
苗の定植から収穫、手入れまですべて手作業で行われています。

話を聞いているとハチが!!
「西洋マルハナバチ」というハチで受粉のお手伝いをしています。
外来種ですが、許可をとり外へ出ないよう徹底管理されています。

大河内さんから組合員さんへ

おいしく食べてもらえるようよりよいものをがんばって作っています。
そのまま生で食べるのが１番おいしいです！

大河内農園(ミニとまと)は、新栄店にて絶賛販売中です。

発行：コープさが生協　お問い合わせは事業部まで　TEL　0952-36-7011